

# 代表者会議【資料 2－1】

## 茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	第 3 回 就学後の相談のしくみ部会定例会
日 時	令和 6 年 1 2 月 1 6 日（月） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 5 0 分
場 所	茅ヶ崎市役所 分庁舎 5 階 特別会議室
事 務 局	相談支援センター つみき
出 席 者	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 譲原 充司 （つつじ学園：部会長）  <input checked="" type="checkbox"/> 堀内 利紀 （教育センター 青少年教育相談室担当：副部会長）  <input checked="" type="checkbox"/> 笈田 麻美 （保護者）  <input checked="" type="checkbox"/> 吉岡 真紀 （障害児相談支援事業所うーたん）  <input checked="" type="checkbox"/> 陣内 隆行 （湘南国際アフタースクール）  <input checked="" type="checkbox"/> 加藤 美穂 （ちがさき学童保育の会）  <input checked="" type="checkbox"/> 大澤 大輔 （シダックス大新東ヒューマンサービス）  <input type="checkbox"/> 白石 真由美 （学校教育指導課）  <input type="checkbox"/> 西村 恵 （学校教育指導課・スクールソーシャルワーカー）  <input checked="" type="checkbox"/> 川崎 恵子 （学校教育指導課・スクールソーシャルワーカー）  <input checked="" type="checkbox"/> 中村 知里 （障がい福祉課） </p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 棚橋 利恵 （部会事務局：相談支援センターつみき）  <input checked="" type="checkbox"/> 檜物 加奈子 （部会事務局：相談支援センターつみき） </p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 渡邊 桃子 （オブザーバー：障がい福祉課） </p> <p style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席</p>
議 題	<p> 1 前回部会の振り返り  2 フローチャートについて  3 今後の取り組みについて  4 その他情報共有 </p>
検 討 内 容	<p> 1 前回部会の振り返り  フローチャートの素案について意見交換を行い、所属の学校で受けられる支援とその他の教育分野の支援の仕組みを分けて表示することとした。また、福祉サービスを利用したい場合に支給決定の根拠となるものを確認した。 </p> <p> 2 フローチャートについて  前回の意見をもとに事前に部会長と事務局でチャートを修正し </p>

## 代表者会議【資料 2－1】

	<p>た。修正したものを今回提示し、学校教育指導課が作成した「支援機関マップ」と「就学相談の流れ」の案内も参考にしながら意見交換を行った。挙げた主な意見は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育委員会のものは文字や枠が加工されて見やすくなっているもので、その点は参考にするとよいかもしれない。一方で情報が多く、各機関や支援者の詳細が書かれていないため、どこに相談すればよいのかが分かりにくい。</li><li>・矢印やイラストも入れるなどして、分かりやすく、親しみやすいものになるとよい。</li><li>・色々と挿入することでスペースが必要な場合は A3 紙を使うか、もしくは A4 両面を使い教育と福祉の支援を表裏に分けて記載してもいいかもしれない。</li><li>・基本的には所属学校の担任や学校内の窓口となる職員への相談が先に考えられるが、所属学校外の教育分野の相談先にも直接保護者が相談できることが分かるよう矢印で示せるとよい。</li><li>・完成後の配布先については、前進部会である「未就学児の相談のしくみ部会」で作成したチャートの配布先も参考にし、就学前後の保護者と支援機関に広く渡るようにしていく。</li></ul> <p>3 今後の取り組みについて</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① フローチャートについて、今回の意見を踏まえて再度修正し、年度内にメールを介して部会員に意見を求める。</li><li>② 次年度 1 回目の部会（5 月頃）でフローチャートを完成させ、その後配布を開始する。</li><li>③ 次年度 2 回目の部会でチャートの配布状況や活用状況を確認する。</li><li>④ 次年度 3 回目の部会で 2 年間の取り組みの総括をし、以降の児童系部会のテーマも併せて検討する。</li></ol> <p>4 その他情報共有</p> <p>（1）保護者の困り感</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・どこに相談したらよいかわからないという声が多い。現在色々な相談先があるが、相談窓口が一本化されている方がよいかもしれない。</li><li>・担任以外に相談したい場合、保護者が学校への連絡に気を遣ってしまうということが起きている。担任以外の相談先について</li></ul>
--	--

## 代表者会議【資料２－１】

	<p>の周知や、担任以外にも気軽に相談しやすくなるような配慮も必要。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中学後の進路に関して不安を抱く保護者も少なくない。中学後について今は色々な選択肢があるが、中学が支援級の場合、進路が支援学校しかないと思っている保護者もいる。中学後の進路その他についての相談先や支援者が必要。</li></ul> <p>(2) 学校と放課後等デイサービス等学校外支援者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校によって連携に対しての温度差があり、積極的に連携を図る学校と、連携を警戒してしまうような学校もある。放課後等デイサービス側も学校の状況を理解しながら連携する事業所と状況にそぐわない意見を述べてしまう事業所があったりもするので、お互いが違いを理解しながら支援を共有していく必要がある。双方で上手くいっている事例を共有するような形が取れるとよいかもしれない。</li><li>・ 公の機関同士の方がつながりやすい場合もあるので、民間事業者が学校との連携が必要な際は、一度、障がい福祉課に相談してみるのもよいかもしれない。</li></ul> <p>(3) 他市の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 藤沢市は支援が必要な児の概要や相談歴などが記されたカルテのようなものがあり、保護者がそれを保管して支援者に情報が引き継がれるような仕組みがある。</li><li>・ 茅ヶ崎市では近いものとして支援シートがあり、小学校から中学校へのステージの切り替えで保護者が先の学校とそれを共有するという仕組みがある。</li></ul> <p>(4) その他情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和１２年まで、茅ヶ崎市内全校に支援級設置予定。</li></ul>
--	--